

令和 6 年度第 2 回清川村まち・ひと・しごと創生推進会議 意見一覧

	議題	内容
①	人口ビジョン	<p>村の人口減少を食い止めるための施策として、どのような移住促進・雇用創出の施策があるのか考えてみました。</p> <p>魅力ある地域づくりとして、歴史的な定住者（家系）、長期居住者、中期居住者、新規転入者に対して、それぞれの立場での「気持ち（マインドセット）」を少しずつ変えていき、村を活気づかせようという共通の理念のようなものを持てるような機会（講座のようなもの）を持つのはいかがでしょうか。</p> <p>そこは地域活性化のエキスパートや若手であっても、地域貢献活動を行なっている方々をお招きして、「ただ漫然と居住する」だけでなく、少しでも「楽しい活性化した村」といった何らかの共通理念（ビジョン）をお年寄りから子どもまで、合言葉のようなものを決めて、村の存続・衰退を食い止める意識を持ってもらうようにすることがまず必要かと思います。</p> <p>役場の方はそれをお膳立てする係に徹すれば良いのではないのでしょうか。</p> <p>子育て世代の移住を促進させるためにも、「よそ者は煙たがる」的な「空気」があると、定住する気持ちが萎えると思われます。</p> <p>上記のような会合を持って、村民の意識付けをし、具体的に仕事を作る。3 年では難しいかもしれませんが、農業法人など従来の農業のように 3 6 5 日働かなければならない状況では持続性がありません。法人化し、IT を駆使した農業を進めていくことが必要かと思います。これも日本全体でみれば、成功事例はあります。</p>
②	人口ビジョン	<p>清川村に移住できる状況にある人、というのは限られると思います。</p> <p>私の場合は、夫の職場に近い、車の運転に慣れている、子どもがいないので転校の心配がない等の条件が揃っていたからこそ、すんなり移住できたと思います。（条件的に入れる村営住宅があったことも大きいです！）</p> <p>近所の近い世代の方々も職場が近い、完全リモートワークの仕事、実家が近いなどの理由で移住してきたようです。</p> <p>だからこそ、移住者の性質（家族構成、仕事、運転スキル、出身、等々）について、しっかり調査し、傾向を探ることで、アプローチする層や方法が明確になってくるのではないかな、と思いました。</p>

④	総合戦略	村民の意識付けをし、具体的に仕事を作る。3年では難しいかもしれませんが、農業法人など従来の農業のように365日働かなければならない状況では持続がありません。法人化し、ITを駆使した農業を進めていくことが必要かと思います。これも日本全体でみれば、成功事例はあります。
⑤	総合戦略	会議では、若い世代のコミュニティ作りや若い世代を主導とした村づくりという意見が出ました。社会人となる20代から40代ぐらいの方々の住民コミュニティがあったら、多様な専門分野の若い感覚での知恵が集結し、村の活性化の為に何かを実現するのにぐっと近づくのではないかなと思います。
⑥	総合戦略	<p>少子高齢化社会の中で各自治体とも人口増（減らさない）対策に必死になっている。清川村が「勝ち組」になるためにどうしたらいいのか対策をより具体的に効果的な施策が求められる。</p> <p>全ての基本目標の中で実現性の高いもの、効果がありそうなものを選んで優先的に進めていくことが肝要だと思う。</p> <p>全ての施策をより必然性の高いものにしていくことを考えて欲しい。</p> <p>「働きたい仕事をつくる」は「働きたい仕事」って何？もちろん企業誘致が前提条件であるが求められている仕事はもしかしたら今の清川村の中にもあるのかも知れない。リサーチをすすめて行って欲しい。</p> <p>「行ってみたい”魅力”をつくる」は清川村に行くと他の市町村ではできない「〇〇〇」ができるとか、「〇〇〇」が買える、食べられるなどスペシャルな体験、商品開発が求められる。</p> <p>「叶えたい”未来”をつくる」は清川村で生活していくうえでの将来展望を見せられるか。結婚して、子供ができて、家を建てて、近い将来から老後までの生活が何となくイメージできるものを見せて欲しい。</p> <p>「住み続けたい”地域”をつくる」は外から移住、流入してきた人たちをどう迎え入れられるか。新住民に手をさしのべられる土壌作りとコミュニティづくりが求められる。</p> <p>村のイメージづくりをするのもひとつの手ではないか。</p> <p>例えば「芸術家を育てる村」として若手、学生芸術家を積極的に誘致し、古民家や村の施設を開放して芸術活動に勤しんでもらうとか展示場、即売所を設けるなども手段としてあるのではないか。</p>
⑦	総合戦略	第1回の意見一覧に、清川茶の抹茶を作り、抹茶に関連した体験ができる場所を作るという意見があり、とてもいいなと思いました。私は長年、茶道をしているので、もしこれが実現したら協力できることがありそうだなと思いました！

⑧	総合戦略	<p>今すぐというのは難しいかもしれませんが、若手起業家を育成することも考えてはいかがでしょうか。</p> <p>役場としてできることは、支援金を出すことだと思いますが、一つの案として、サイボウズのコラボワークス事業があります。その中の「農地での多目的空間建築事業（グリーンベース）」などをコラボワークスと取り組むことができれば、先行きが広がりそうに思います。</p> <p>今回の推進会議の話と関係があるのかどうか微妙ですが、清川村で農業をやりたい（水がきれいだから）という人がいます。私の同僚の友人だそうです。そのような人たちがどこにアプローチすれば良いのか、窓口がわかりやすいと良いのではないかと思います。</p>
---	------	--